

令和6年度地域ケア会議から見えてきた課題と提案

課題番号	課題とした年度	課題	背景・事象・会議等	センター	前回の現状（令和6年7月）	現状（令和7年7月）	提案・方針等
1	令和元	認知症高齢者の社会参加	<p>令和元年9月18日の地域ケア会議で「認知症を発症してから外出の機会が減り、マンション内の自治会活動やイベントにも参加しなくなり、他者との交流を避けるようになった。趣味の水彩画を再開したいが仲間がいない」と住民より相談を受けた民生委員から意見が出た。（月島）</p> <p>令和元年12月19日の地域ケア会議で『趣味や町会に参加しているが『様子がおかしい』と思われることがあり、居づらくなってしまったり、尊厳が傷つけられる可能性がある」と民生委員から意見が出た。（月島）</p> <p>令和元年11月19日の地域ケア会議で「病気の影響により、変わった言動等が出ると“あまり関わりたくない”と言われ、肩身の狭い思いをしている人がある」と民生委員から意見が出た。（京橋）</p> <p>令和元年12月4日の地域ケア会議で「認知症の進行によりアルバイトできなくなり、介護保険の利用に至ったが、時間を持て余している。就労についての意欲は高いものの、主治医からは、就労は困難との意見がある。ボランティアなどでできればよいのだがと家族から相談があった。」と介護支援専門員から意見が出た。（日本橋）</p> <p>令和5年9月29日の地域ケア会議で「認知症になったことで、本人・家族が周囲とのつながりに消極的になってきてしまう」と介護支援専門員から意見が出た。（月島）</p> <p>令和6年6月28日の普及啓発型地域ケア会議で「認知症の理解は不可欠であるが、まだまだ十分に普及しきれていない」と民生委員から意見が出た。（月島）</p>	京橋 月島 日本橋	<ul style="list-style-type: none">認知症高齢者グループホームでは、クリーンデーや地域の清掃活動に利用者が参加し地域住民と清掃活動を行っている。また、地域のスーパーに利用者の代表が買い物に行き、職員とともに食事を作る取り組みがなされている。認知症カフェ運営費等補助事業の開始（令和2年4月）認知症カフェの実施7か所（令和6年4月末現在）認知症サポーター養成講座の開催（区民、企業、児童館）	<ul style="list-style-type: none">認知症高齢者グループホームでは、クリーンデーや地域の清掃活動に利用者が参加し地域住民と清掃活動を行っている。また、地域のスーパーに利用者の代表が買い物に行き、職員とともに食事を作る取り組みがなされている。認知症カフェ運営費等補助事業の開始（令和2年4月）認知症カフェの実施7か所（令和7年4月末現在）認知症サポーター養成講座の開催（区民、企業、児童館、小学校）	<ul style="list-style-type: none">認知症カフェ等で、当事者がスタッフとして活動できる仕組みづくり認知症サポーターとしての活動や今後の展開を示し、養成講座の受講者を増やす。認知症の方本人や家族の話を聞く。幅広い年代へ認知症に関する理解を進めるための普及活動
2	令和4	地域とつながりを持たない（持てない）高齢者	<p>令和3年11月5日の地域ケア会議で「ひとり暮らし調査でもみられるが、支援を必要とする独居男性の介入に困難さが生じるケースがある。」と民生委員から話があがった。課題として、男性は寂しい、話し相手がいない等、孤独感を訴える方がいるが、自ら支援を求めない方もいるとの意見が出た。（月島）</p> <p>令和3年11月10日の普及啓発型地域ケア会議で「外国人や他のエリアからの転入が多い。高齢者向けのサロンを始めたが、数人の参加しかなく、本当は寂しいという高齢者にどうつながったら良いのか、どういう形でつながることができるのか模索している。」と民生委員から話があった。（月島）</p> <p>令和3年11月22日の地域ケア会議で、他地域から中央区に呼び寄せられ、転入したケースについて話し合った。「地域には呼び寄せられた高齢者が多い。寂しい思いをしているが、声に出せない高齢者が多いのではないかと参加者から意見が出た。（月島）</p> <p>令和4年7月13日の地域懇談会で「あえて孤独を選ぶ高齢者もいる。」「地域の情報が入らず、孤独になってしまう高層マンションの居住者も増えた。」「孤独という概念の捉え方について、当事者・地域関係者・専門職等が、今一度考えた方がよいのではないかと参加者から意見が出た。（京橋）</p> <p>令和4年9月16日の地域ケア会議で、配偶者が急死したことで孤独感に苛まれている高齢者の話し合いを行った。「大切な人を失ったことへの喪失感を解消するには時間が掛かるが、高齢者の場合、時間が掛かることで体力や筋力の低下が心配」と参加者から意見が出た。（月島）</p> <p>令和6年3月13日の地域ケア会議で「ひとり暮らし高齢者等調査の訪問をしていて、訪問しても会えない、電話にも出ない、会えたとしても不審者扱いされる」と民生委員から意見が出た。（京橋）</p> <p>令和6年11月25日の普及啓発型地域ケア会議で「防犯意識の高まりにより、電話やインターネットにに応じてくれない。関わってほしくない人への対応に悩んでいる」と町会長から意見が出た。（日本橋）</p> <p>令和7年5月27日の地域懇談会で「特に男性高齢者の集う場があると良い。」と民生委員から意見が出た。（月島）</p>	京橋 月島	<ul style="list-style-type: none">友愛電話訪問事業の活用いきいき館（3館）高齢者通いの場（20カ所）おとなりカフェ・ちょこっと相談会（2カ所）	<ul style="list-style-type: none">いきいき館（3館）高齢者通いの場（23カ所）おとなりカフェ・ちょこっと相談会（3カ所）	<ul style="list-style-type: none">地域の生活拠点（商店・郵便局・薬局等）と連携し支援の糸口を探る。グリーフケアの普及啓発医療・介護・行政サービスにつながるのな い方へのアプローチの仕組みづくり
3	令和6	身寄りがいない高齢者の支援	<p>令和6年11月7日の地域ケア会議で「入院・入所手続き支援や金銭管理、死後事務等が難しい。身元保証サービスも高額であり、安易に推奨できない」と民生委員より意見が出た。（月島）</p>	月島	<ul style="list-style-type: none">地権事業、成年後見制度の活用ふくしの総合相談窓口との連携エンディングノートの配布	<ul style="list-style-type: none">地権事業、成年後見制度の活用ふくしの総合相談窓口との連携、7月より月島ふくしの総合相談窓口開設エンディングノートの配布	<ul style="list-style-type: none">あんしん居住制度、高齢者等終身サポート事業等の情報提供相談支援における専門家（弁護士等）との連携